

# 映画制作責任者より

統轄プロデューサー  
制作委員会委員長

## 大山 雅義

Masayoshi Ohyama

テレビ番組企画制作会社  
(株)ヌーベル 代表取締役



### 映画企画の意図の下

映像表現には大きな可能性が秘められています。訴求力が強く、笑いを誘い、泣かせ、そして大きな感動を覚える事となります。私はそのような映像表現の中に秘められた大きな力を学び、これまでも地域に貢献する映像を制作、多くの人々に観て頂いてまいりました。そうした中で明治・大正・昭和という激動の時代に翻弄された人々の人生があったことを「もっと多くの方々に知ってほしい」という意見を頂くことができました。

映画「みちのく秋田・赤い靴の女の子」は、明治から大正という時代に、血縁や民族の違いを超えて並々ならぬ努力で無償の愛の行為を見いだした女性の人生を描きます。そこには家族とは何か？絆とは何か？といった家族愛・人類愛の問いかけがあります。

この物語に出会った時、みちのく秋田とハワイを舞台とした究極の愛に満ちたこのドキュメンタリーを風化させてはならないと感じました。また、映画タイトル同名の唄と共に、時代の記憶を次代につないでいく事を、映像をもって強く求めていきたいと考えました。

さて、映画はひとまず完成いたしました。制作へのご支援・ご協力をいただいた皆様には心より感謝申し上げます。

しかしながら映画企画の意図からいうと、これは一段階の終了に過ぎません。多くの人に観ていただきこの物語を知っていただくための活動がここから始まります。皆様にはこれからも心強い当映画の応援者でいていただきたいと思う次第です。

脚本・監督

## 石谷 洋子

Yoko Ishiya

放送作家、日本脚本家連盟理事



### 撮影ひ話

ゼエー、ゼエー、ゼエー…

スタートラインに立ったときは、中距離競走だったはずなのに、なんと、二十四時間テレビのマラソンだったなんて。よくまあ、ゴールにたどり着けた。これは奇跡としか言いようがない。

春、スケジュールが遅れに遅れて、撮影地の横手は田植えも終わっていないのに初夏を迎えていた。私が撮りたかった秋田の春爛漫はどこにもない。一面のたんぼぼは、撮影前日に見に行くと、一面の綿毛になっていた。当日は早朝より風が吹き荒れていて、気が気じゃない。案の定、タンポポは三分の一をのこして茎だけになっていた。これが試練の始まりだった。秋には、黄金色に輝く田んぼの稲刈りは終わっており、茜色に染まるはずの道が色褪せた緑になっているだけだった。十月も未だというのに、夏はそこかしこに居座っていて、昨今の異常気象を恨んだ。さらに豪雪地帯で知られる横手にその年は数センチの雪がやっと降っただけだった。私がこの映画に入れたかった自慢の故郷の四季は、一つも物にできず、心が折れそうだった。「自然相手だ、仕方がない、出来ることはやった」と気を取り直して東京に帰ると、今度はコロナ。先が見えない。見えないけど、沿道には応援の人たちが途切れることなく並んでいた。足が進まなくなると、技術スタッフさんが、ひっぱったり、押し下りたりしてくれた。映画は観てくれる人がいて完成される。

この映画の完成を支えてくれた多くの方に感謝します。楽しんで頂けるものと思っています。

## Committee

### みちのく秋田 赤い靴の女の子 制作委員会

運営サポート委員

船木 一美

・総合サポート委員(副委員長)

門脇 成英

・運営サポート委員

曾我 貢誠

・企画サポート委員(副委員長)

畑澤 富美夫

・運営サポート委員

金子 幸子

・財務サポート委員

岸谷 宏幸

・運営サポート委員

鈴木 猛

・運営サポート委員

竹内 カンナ

・広報サポート委員

藤原 和広

・運営サポート委員

星 和希

・広報サポート委員

事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-13-8-604 (株)ヌーベル内

<https://akita-akaikutsu-eiga.jp>

E-mail: [info@akita-akaikutsu-eiga.jp](mailto:info@akita-akaikutsu-eiga.jp)

TEL: 090-6549-3022 担当 大山 雅義

090-3049-7291 船木 一美

090-4422-1534 曾我 貢誠